

編集後記

エキスポシティに昨年11月にオープンしたニフレルに取材に行ってきました。

「アートとして魚を展示する」というのがこれまでの水族館にはない新しいコンセプトのひとつで、正面からだけでなく、周囲180度、真上から、そして下からも、水の生き物の色や形をじっくり味わえるようになっている。水槽（というよりショウケース）や照明なども洒落ていて、まさにギャラリーのインスタレーションである。オウムガイの殻の対数螺旋やヒトデの五放射相称など、自然界が無作為に生み出す形や色は、人間が「術」を尽くして造り出す芸術のお手本になってきたので、アーティストックなのは至極当然なのである。

ニフレルには「ワンダーモーメント」という、魚が一匹もいない、アートそのものの空間もある。頭上に浮く球体とその下の床面に松尾高弘氏が手掛けたメディアアートが展開する。その神秘的な光と音の共演に合わせて、小さな子どもたちが自由に踊りまくっていた。瞬き、仄めく光線を浴びながら、鑑賞物としてのアートの境界をいともたやすく超えて、作品のムーヴメントと一体になっているのである。光の海をひらひらと遊泳する熱帯魚のようで、見ていて飽きない。（山中由里子）

●表紙:村山誠「Narcissus tazetta L. var. chinensis M.Roem - left side view - b」
2014年

次号の予告

特集

体育会系

月刊みんぱく 2016年3月号

第40巻第3号通巻第462号 2016年3月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
電話 06-6876-2151

発行人 池谷和信
編集委員 山中由里子（編集長） 河合洋尚 菅瀬晶子
丹羽典生 丸川雄三 南真木人 吉岡乾

デザイン 宮谷一 長岡綾子

制作・協力 一般財団法人 千里文化財団

印刷 能登印刷株式会社

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係に
お願いします。

*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんぱくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

みんぱくフェイスブック

<http://www.facebook.com/MINPAKU.official/>

みんぱくツイッター

<http://twitter.com/MINPAKUofficial>